

11月13日 第1回協議会

平成25年度の事業結果、平成26年度の事業計画を報告し、周遊ルートの設定、学校MMの実施、先進都市事例調査・研究を実施することに決定しました。

周遊ルート策定ワークショップの実施

協議会では、平成27年度に公共交通の周知啓発紙の作成を予定しており、掲載内容として、「観光」という視点から鉄道や広域路線バスを活用した周遊ルート等を考えています。

今年度は、掲載する周遊ルートを策定するため、5つのルート案について、ワークショップ形式で意見を出し合い、現地視察を行って周遊ルートを策定しました。

【↓できあがった公共交通の周知啓発紙
「ちよい旅とちぎ」(平成27年度発行)】



12月15・18日 益子町・高根沢町での学校MMの実施

公共交通である路線バスについて利用方法やマナーを学ぶことで児童の公共的な資質の向上を図るとともに、バスを身近に感じることで路線バスの利用促進を図ることを目的として、「学校MM」を実施しました。

【内容】 対象：益子町立田野小学校 4年生 高根沢町立中央小学校 2年生

・乗降体験：東野バスの乗り方教室を実施

※ 方向幕・バス停の見方（行き先確認）、整理券の取り方、乗車中のルール・マナー、降車ボタンの使用方法、運賃表の見方、運賃の支払方法等を学習

・福祉体験：車椅子での乗降体験、車椅子の固定方法などバス車両の対応を学習

・デマンド交通の紹介：デマンドタクシー「ひまわり号」（益子町立田野小）

デマンドバス「たんたん号」（高根沢町立中央小）の紹介

【感想】

（児童から）

- ・学校以外のバスに初めて乗り、知らないことをたくさん学べた。
- ・車椅子がそのまま乗れるように車体が低くなるのを初めて知った。

乗り方教室の様子



(担任の先生から)

- ・大多数の児童が路線バスに乗った経験がなかったため、実際に路線バスの乗降体験ができて良かった。
- ・福祉体験はパンフレットだけでは実感できないものなので、実際に見ることができて良かった。

【児童へのアンケート結果】

- ・路線バスに乗車したことがあるか：(益子町立田野小) ある27% ない73%
(高根沢町立中央小) ある12% ない88%
- ・今後路線バスに乗りたいか：(益子町立田野小) はい97% いいえ3%
(高根沢町立中央小) はい94% いいえ6%

先進都市事例調査・研究

県央地域が抱える短期または長期的課題に関する先進事例を調査、研究するために、先進地視察を実施しました。

《視察地》

神奈川中央交通株：・ツインライナー・ベビーカー利用・サイクルアンドバスライド
・自転車ラックバス・運賃割引・社員研修について視察

神奈川県秦野市：・バス事業者への支援・乗合タクシー事業・交通スリム化教育について視察

《視察日》

平成27年2月19～20日

《視察結果》

◆ 神奈川中央交通株式会社

多様なニーズに合わせたサービスを数多く提供しており、導入効果の出にくいものでも簡単に取り組めるものについては積極的に取り組み、利用者の確保・拡大のための事業を実施している。また、小田急グループの特性を活かし、小田急電鉄株とのお得な切符を発行しており、利用者にとって魅力あるサービスを提供している。

◆ 秦野市

公共交通について地域住民に実態理解と共通認識保持のため、継続的に話し合いの場を設け、乗合タクシーの運行計画に反映している。また、小学生を対象とした交通スリム化教育を毎年3～4校で順番に実施するよう教育委員会と連携し、子どものうちから公共交通について学ぶ機会を確保している。



3月20日 第2回協議会

第2回協議会では、策定した周遊ルートを報告するとともに、来年度の公共交通利用促進策の検討ワークショップの概要について決定いたしました。また、来年度も引き続き、学校MM、先進都市事例調査・研究の実施を決定しました。